

ひたちなか市子ども・子育て支援事業計画に係る説明会用

子ども・子育て支援事業計画(案) 【教育・保育量の見込みと確保の方策】

ひたちなか市

平成26年9月11日

1 計画期間における年齢別人口

○就学前児童

単位：人

年齢	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
0歳	1,243	1,199	1,156	1,123	1,099
1～2歳児	2,733	2,624	2,532	2,440	2,360
3～5歳児	4,421	4,352	4,209	4,101	3,943
合計	8,397	8,175	7,897	7,664	7,402
前年差	△ 133	△ 222	△ 278	△ 233	△ 262

※人口は4月1日現在の常住人口である。人口推計は、コーホート変化率法により算出した。

○小学生

年齢	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
1～3年生	4,459	4,433	4,481	4,422	4,353
4～6年生	4,558	4,423	4,400	4,395	4,369
合計	9,017	8,856	8,881	8,817	8,722
前年差	△ 245	△ 161	25	△ 64	△ 95

2 施設型給付を受ける子どもの認定区分

認定区分		給付の内容	給付を受ける施設
1号認定	3～5歳児, 学校教育のみ利用	教育標準時間	幼稚園 認定こども園
2号認定	3～5歳児, 保育の必要性あり	保育短時間 保育標準時間	保育所 認定こども園
3号認定	0～2歳児, 保育の必要性あり	保育短時間 保育標準時間	保育所 認定こども園 小規模保育等

3 アンケート結果の活用法について

① 家庭類型と認定区分

父母の就労状況	家庭類型	比率		認定区分
		実数	潜在含む	
ひとり親家庭	A	3.6%	3.6%	2号認定 3号認定
フルタイム×フルタイム	B	22.7%	→ 28.0%	
専業主婦（夫）の家庭	D	54.5%	→ 41.3%	1号認定
無業×無業	F	0.8%	0.8%	
フルタイム×パートタイム (月120時間以上または月64～120時間未満の一部)	C	13.1%	→ 13.1%	2号認定 3号認定
パート×パート (双方月120時間以上または月64～120時間未満の一部)	E	0%	0%	
フルタイム×パートタイム (月64時間未満または月64～120時間未満の一部)	C'	5.3%	→ 13.0%	1号認定
パート×パート (いずれかが月64時間未満または月64～120時間未満の一部)	E'	0%	→ 0.2%	

3 アンケート結果の活用法について

② 父母就労状況と家庭類型一覧

母親		3パートタイム就労 4育休・介護休業中			5現在は就労していない 6就労したことがない
		120時間以上	120時間未満 64時間以上	64時間未満	
父親		1フルタイム就労 2育休・介護休業中			
1フルタイム就労 2育休・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'	
3パートタイム就労 4育休・介護休業中	120時間以上	タイプC	タイプE		タイプD
	120時間未満 64時間以上				
	64時間未満	タイプC'		タイプE'	
5現在は就労していない 6就労したことがない			タイプD		タイプF

※ひとり親家庭のタイプAと図表囲み内のタイプB, C, Eが2号・3号認定に分類され、それ以外は1号認定に分類される。

4 量の見込み(教育・保育)

①国の手引きによる算出

単位:人

			年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
幼稚園・認定こども園 利用	1号(3~5歳)			1,870	2,149	2,109	2,029	1,967	1,878
	2号(3~5歳)	幼稚園の利用意向が強い	※	310	356	351	339	331	318
保育所・認定こども園 利用	2号(3~5歳)	その他		1,660	1,566	1,542	1,491	1,453	1,397
	3号(0~2歳)	1・2歳		836	818	786	758	731	707
		0歳		118	539	520	502	487	477
	3~5歳 小計			3,841	4,071	4,002	3,859	3,751	3,593
0~2歳 小計			954	1,357	1,306	1,260	1,218	1,184	
合計				5,184	5,428	5,308	5,119	4,969	4,777
認可外保育園	3~5歳			286					
	1・2歳			52					
推計人口	3~5歳			4,481	4,421	4,352	4,209	4,101	3,943
	1・2歳			2,758	2,733	2,624	2,532	2,440	2,360
	0歳			1,287	1,243	1,199	1,156	1,123	1,099
	合計			8,526	8,397	8,175	7,897	7,664	7,402
利用意向率	1号(3~5歳)			41.6%	48.6%	48.5%	48.2%	48.0%	47.6%
	2号(3~5歳)	幼稚園の利用意向が強い		7.1%	8.1%	8.1%	8.1%	8.1%	8.1%
		その他		37.0%	35.4%	35.4%	35.4%	35.4%	35.4%
	3号(0~2歳)	1・2歳		30.3%	29.9%	30.0%	29.9%	30.0%	30.0%
		0歳		9.1%	43.4%	43.4%	43.4%	43.4%	43.4%

※H26は幼稚園は5月1日現在, 保育所は4月1日現在の人数

※H26の幼稚園の利用意向が強い2号児童数は, H27ニーズからの割り返しにより算出

0歳児の量の見込みがH26の実績と乖離している(補正の必要がある)

4 量の見込み(教育・保育)

②補正後

単位:人

		年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
幼稚園・認定こども園 利用	1号(3~5歳)		1,870	2,149	2,109	2,029	1,967	1,878
	2号(3~5歳)	幼稚園の利用意向が強い	※ 310	356	351	339	331	318
保育所・認定こども園 利用	2号(3~5歳)	その他	1,660	1,566	1,542	1,491	1,453	1,397
	3号(0~2歳)	1・2歳	836	818	786	758	731	707
		0歳	118	278	268	258	251	245
3~5歳 小計			3,841	4,071	4,002	3,859	3,751	3,593
0~2歳 小計			954	1,096	1,054	1,016	982	952
合計			5,184	5,167	5,056	4,875	4,733	4,545
認可外保育園		3~5歳	286					
		1・2歳	52					
推計人口		3~5歳	4,481	4,421	4,352	4,209	4,101	3,943
		1・2歳	2,758	2,733	2,624	2,532	2,440	2,360
		0歳	1,287	1,243	1,199	1,156	1,123	1,099
		合計	8,526	8,397	8,175	7,897	7,664	7,402
利用意向率	1号(3~5歳)		41.6%	48.6%	48.5%	48.2%	48.0%	47.6%
	2号(3~5歳)	幼稚園の利用意向が強い	7.1%	8.1%	8.1%	8.1%	8.1%	8.1%
		その他	37.0%	35.4%	35.4%	35.4%	35.4%	35.4%
	3号(0~2歳)	1・2歳	30.3%	29.9%	30.0%	29.9%	30.0%	30.0%
		0歳	9.1%	22.4%	22.4%	22.3%	22.4%	22.3%

※H26は幼稚園は5月1日現在、保育所は4月1日現在の人数

※2号のうち幼稚園の利用意向が強い児童数H27ニーズからの割り返しにより算出

補正後も0歳児の量の見込みがH26の実績と乖離している

5 量の見込みの補正について

①ひたちなか市の補正方法

◇国の手引きによる算出方法で求めた量の見込みが現状と比較して大きな乖離がある場合は、適切な補正をする必要がある。

◇ひたちなか市の補正の方法

0歳児の保護者の中で保育利用の意向示している者(ニーズ調査中潜在的実数59人)から以下の回答をした者を除外する

①定期的な教育・保育事業の利用の有無の設問に対し、利用していないとした者の中で、その理由を「父または母が見ているために利用する必要がない」と回答した者を除外する。(△14人)

②育児休業取得の有無の設問に対し、取得した(取得中である)とした者の中で、取得後の状況を「現在も育児休業中である」と回答した者を除外する。(△13人うち4人は①と重複)

5 量の見込みの補正について

②他自治体の補正方法

他の自治体の補正の方法を見てみると

例①

・ニーズ調査では0歳児の見込量は意向を含んでいるため40.3%と高い数値となり現状の22～26%との乖離と考慮して、5%下降補正をし35%とした。

例②

・利用希望に対応する確保方策を実施しても、実際の利用がなければ、事業実施者に損失を生じさせかねないため、H31の目標数値を妥当な水準とし、現状の数値からH31の量の見込みに向けて平均的に変化させるように補正をする。また、設問中「子どもが小さいため〇歳になったら利用する」とした0歳児の見込は除外した。

例③

・国の算出式では「無回答」を母数から外しているが、何らかを積極的に利用したい意志があれば回答していると想定し、ニーズ調査の設問の母数に「無回答」の人数を加えた。また、設問中「自分で育てたい」を選択した人数を分子から除外した。

6 量の見込みに基づく確保の方策(イメージ)

①必要利用定員総数

単位:人

認定区分	26年度(実績値)			27年度			28年度			29年度			30年度			31年度							
	1号	2号	3号	1号	2号		3号																
					教育 コース	保育 コース																	
人口推計	4,481		4,045	4,421		3,976	4,352		3,823	4,209		3,688	4,101		3,563	3,943		3,459					
量の見込み (補正前)(人)	2,180	1,660	954	2,149	356	1,566	1,357	2,109	351	1,542	1,306	2,029	339	1,491	1,260	1,967	331	1,453	1,218	1,878	318	1,397	1,184
①量の見込み (補正後)(人)				2,149	356	1,566	1,096	2,109	351	1,542	1,054	2,029	339	1,491	1,016	1,967	331	1,453	982	1,878	318	1,397	952
② 確保方策																							
認定こども園, 幼稚園, 保育 所(人)	3,410	1,660	954	1,120		1,660	954	3,410		1,660	954	3,410		1,660	954	3,410		1,660	954	3,410		1,660	954
確認を受けな い幼稚園(人)				2,290																			
地域型保育事 業(人)																							
②-①	1,230	0	0	1,261	△356	94	△142	1,301	△351	118	△100	1,381	△339	169	△62	1,443	△331	207	△28	1,532	△318	263	2
認可外保育園	286		52	286		52	286		52	286		52	286		52	286		52	286		52	286	